

令和6年度 林業普及週間現地情報(4/1～4/6)

森林管理課

イヌマキの病害虫防除

4月4日(木)

令和6年4月4日、県北部農林水産振興センターは、首里城友の会が大切に守り育てているイヌマキ林においてキオビエダシャクという害虫の防除を行った。

首里城公園友の会は、平成の首里城復元時に先の大戦等により荒廃した本県の森林から木材を供給できなかつたことを機に、将来の首里城修復のために修復材となるイヌマキを植樹・育樹していくことを目的に平成4年5月に設立した団体である。

キオビエダシャクはシャクガ科に属する蛾の一種で、幼虫はイヌマキを好んで摂食する。食欲旺盛で大量に発生するため、加害された木は葉が全て食い尽くされ、枯れるものも多い。

去年の4月5日はキオビエダシャクが大量発生していたが、今年は2月3日に薬剤散布を行ったためか大量発生には至っておらず新葉が芽吹き終わった適期に散布できたものと思慮される。

今後は、大量発生前の防除に心がけていきたい。

キオビエダシャクの防除回数

R 4	R 5	R 6
4/11-12	4/5	4/4
6/21	5/26	
8/30	6/8-25	
9/28	8/25、26	
	2/3	



散布の様子

(報告者：北部農林水産振興センター 仲里、佐野、西岡、國吉)